

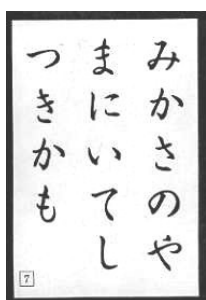


令和7年度みえ文化芸術祭
第31回みえ県民文化祭地域自主プログラム



第22回

小倉百人一首交流フェスティバル (初心者かるた大会)



【参加要項】



とき：令和7年11月9日（日）

ところ：明和町中央公民館
(明和町)



【主催】
三重県かるた協会
【共催】
三重県
【後援】

三重県教育委員会、明和町、明和町教育委員会、
松阪市教育委員会、伊勢市、(一社)全日本かるた協会

第22回小倉百人一首交流フェスティバル

(初心者かるた大会)

参 加 要 項

日 時 令和7年11月9日(日)

受 付 …… 9:00～9:30 明和町中央公民館

開会式 …… 9:30～9:45 受付会場と同じ

競 技 …… (団体戦) 10:00～12:20

(個人戦E級) 10:00～16:00

(個人戦F級) 10:00～14:20

閉会式 …… (団体戦) 12:20～12:30

(個人戦E級) 16:15～16:30

(個人戦F級) 14:30～14:45 (以上、時間は予定)

2 会 場 明和町中央公民館(多気郡明和町馬之上944-6) ※4～5ページ参照

3 競技区分

部門	競技方法	競技・登録人員	備考
団体戦	チラシ取り	2名	
個人戦E級	競技かるた	1名	競技かるた経験者※ ※1) 公認大会出場経験者又はそれに準ずる者、 2) 三重県かるた協会加盟団体会員で初段を目指す方
個人戦F級	競技かるた	1名	上記以外

4 参加資格 1) 団体戦・個人戦とも、三重県内に在住または通勤・通学している方(無段者)
2) 三重県かるた協会会員(無段者)

5 表 彰 団体戦2試合、個人戦E級はトーナメント方式(最大4回戦)、F級3試合の競技結果により上位者を表彰します。

6 組 合 せ 主催者による抽選で組合せを行います。

7 申込方法 所定の申込用紙(コピーでも可)に必要事項を記入し、FAXまたは郵便で申込先へお送り下さい。また、三重県かるた協会ホームページのメールフォーム、E-mailでも申し込みできます。

8 申込期間 令和7年9月1日(月)～10月31日(金)まで

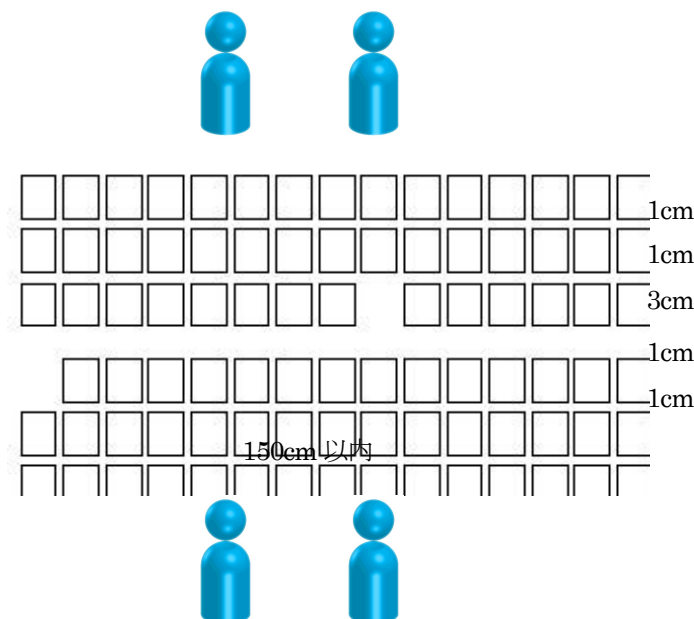
9 参 加 料 団体戦、個人戦(F級):小学生(園児含む)1人600円、中学生以上1人1,100円
個人戦(E級):1人1,500円
(当日、受付にてお支払い願います。参加料は、賞品、副賞に使われます。)

10 昼 食 個人戦参加者は、昼食を各自でご用意下さい。

- 11 申 込 先 1) メールの場合
三重県かるた協会 大会事務局 加田ゆかり宛 E-mail okayucyan55@yahoo.co.jp
2) 郵送・FAX の場合
〒511-0831 桑名市益生町 25 太田富夫宛 TEL 090-3937-4735、FAX 0594-25-2613
3) メールフォームの場合
三重県かるた協会ホームページ <http://miekaruta.sakura.ne.jp/> からアクセス
- 12 主 催 三重県かるた協会
- 13 共 催 三重県
- 14 後 援 三重県教育委員会、明和町、明和町教育委員会、松阪市教育委員会、伊勢市、
(一社)全日本かるた協会
- 15 その他（コロナ等感染症対策）
- ・ 来場者（選手、役員、付き添い、観戦者）のマスク着用は自由とします。
 - ・ こまめな手洗い、会場各所に設置のアルコール消毒液で手指消毒をお願いします。
 - ・ 試合の合間の換気を行いますので、ご理解・ご協力をお願いします。
- (以上)

団体戦の進め方

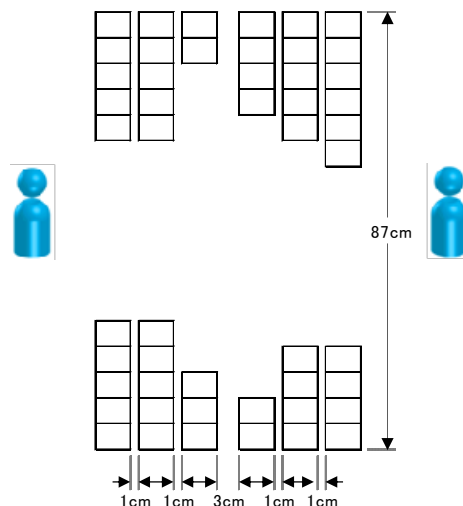
- ア 団体戦は、三重県かるた協会制定の独自のルールにより実施します。概要は以下のとおりです。
- (ア) 競技は2チームが同一札を取り合う『チラシ取り戦』とし、取った枚数を競います。
- a 2人1チームとします。登録も2人までとします。
- (イ) 競技の進め方は、概ね以下のとおりです。
- a 競技は、各チームに与えられた取り札50枚（計100枚）を、3段・横150cm枚以内に並べ、読まれた札を取り合います。
- b 暗記時間は設けません。
- c 審判の競技開始の合図により競技が始まります。対戦相手と読手（読む人）へ挨拶します。
- d かるたの読み方は、最初に序歌（百人一首にない歌）を読み、その後、百人一首の歌を読みます。
- e 該当札以外の取り札に誤って触った場合は「お手付き」とし、「お手付き」をした選手は1回休みとします。（取りは認める。）
- f 競技は、1試合90首で終了とします。
- (ウ) 競技を進める上での注意事項は、以下のとおりです。
- a 札を取る手は、その試合中は左右どちらか一方とし、誤ってそれ以外の手で取った選手は1回休みとします。（最後の1枚を除き、取りは認めます。）
- b 次の札の上の句が読まれるまでは自陣下段から手を出してはいけません。
- c 同時に取り札に触れたときは、札がある陣地のチームが取ったものとします。
- d 次の読みが始まってからは、前に読まれた札は取れないものとします。
- e 相手チームが札を並べ直している間は、読手に見えるように手を挙げてください。
- f 札を移動する場合、その都度相手チームに通知します。（勝手に移動してはいけません。）
- g 選手の座る場所は、競技途中で変更しないものとします。
- h 競技が終了しても、審判に取った枚数の確認を受けるまではその場にいてください。



- (エ) 団体戦の対戦、順位決定方法は、以下のとおりです。
- a 各チーム2試合行い、取った枚数の2試合合計の多い順に順位を決定します。同じ枚数の場合は、ジャンケン（3回行って先に2勝）で決定します。
 - b 対戦は、1回戦については、各チーム代表者によるくじ引きで決定します。2回戦は、1回戦で取った枚数の多い順の対戦とします。

個人戦の進め方

- イ 個人戦は、原則として、（一社）全日本かるた協会競技規程、競技会規程に基づき実施します。概要は以下のとおりです。
- (ア) 競技は2人の選手が自陣、相手陣の各25枚（計50枚）を取り合う『競技かるた』とします。
- (イ) 競技の進め方は、概ね以下のとおりです。
- a それぞれの選手が25枚の取り札を3段、幅87cm以内で自由に並べます。
 - b 概ね全員が並べ終わった後で、15分間の記憶時間（取り札の位置を覚える時間）を設けます。
 - c 審判の競技開始の合図により競技が始まります。対戦相手と読手（読む人）へ挨拶します。
 - d かるたの読み方は、最初に序歌（百人一首にない歌）を読み、その後、百人一首の歌を読みます。
 - e 自陣、相手陣どちらの札を取っても構いませんが、相手陣の札を取った場合、自陣から札を1枚相手に送ります。
 - f 読まれた札がない陣地の札に触った場合、「お手付き」となります。この場合、相手から札を1枚もらいます。
 - g 相手よりも先に自陣の札がなくなった方が勝ちです。
- (ウ) 競技を進める上での注意事項は、以下のとおりです。
- a 札を取る手は左右どちらか一方の手とします。（両手を使うことはできません。）
 - b 試合中の札の移動は自由ですが、その際、相手に通知してください。
 - c 次の札の上の句が読まれるまでは、自陣下段の手前の畳に手を置いてください。（取り札の上に手をかざして、札が読まれるのを待っていてはいけません。）
 - e 相手の選手が札を並べ直している間は、読手に見えるように、手を上げてください。
 - f 試合終了後は、双方合わせて札が50枚あることを確認の上、勝った選手が勝敗、枚数差を記録係に報告するとともに、記録係に札を戻してください。

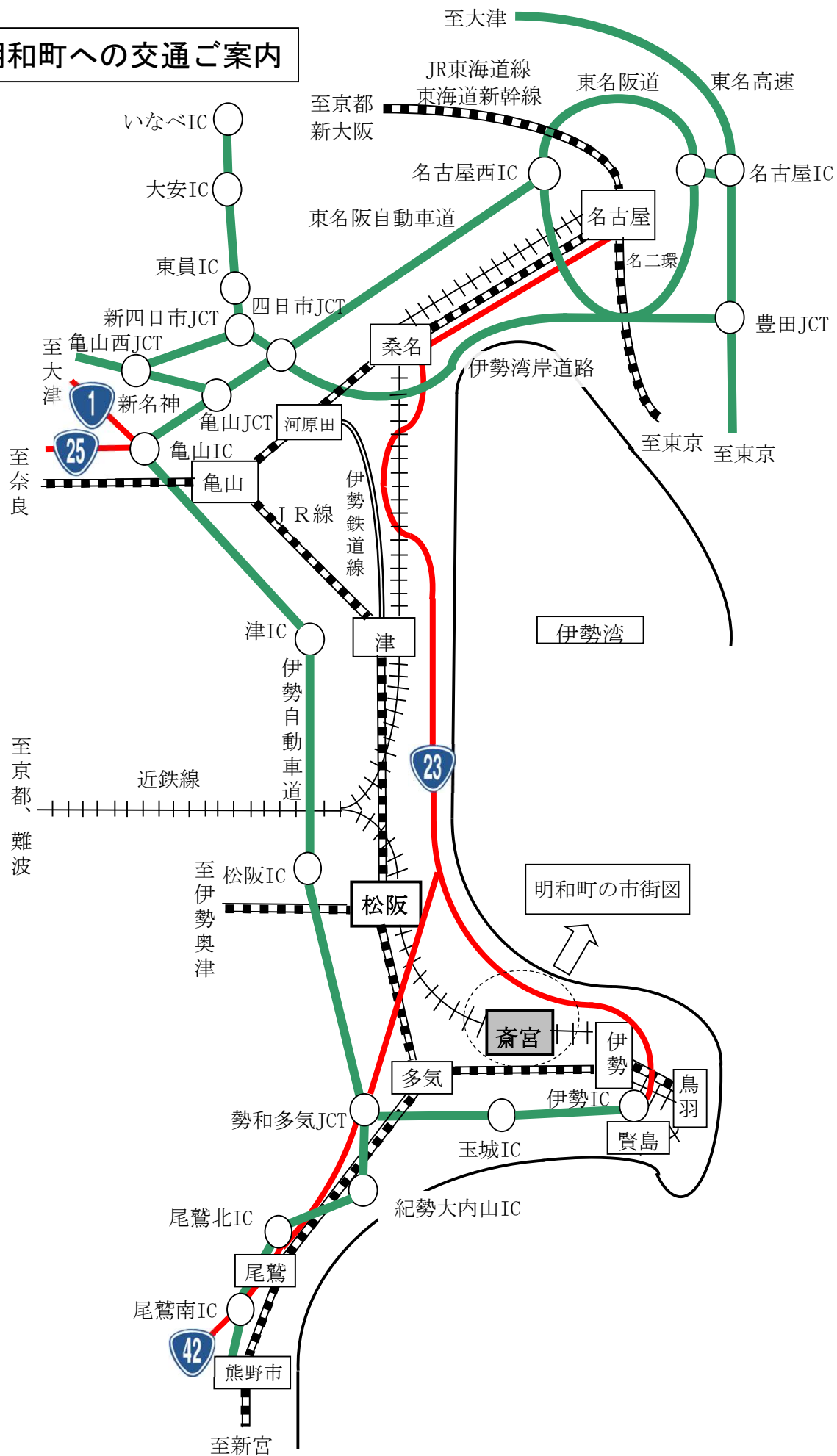


- (エ) 個人戦の競技方法、対戦の決定方法は以下のとおりです。
- a 個人戦のE級は、トーナメント方式とします。F級は勝敗に関係なく3試合行います。
 - b E級は4回戦で終了するよう最大16人とし、16人を超える場合は分割します。
 - c 対戦相手は、試合前の抽選により決定します。その他の対戦については、地域、学校等を考慮します。

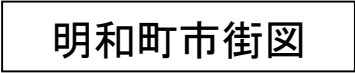
その他

- ウ 団体戦、個人戦共通事項は以下のとおりです。
- a 試合中のマスクの着用は自由とします。対戦相手、チームメートとの会話は、小さな声でお願いします。また、選手全員、こまめな手指消毒又は手洗いご協力願います。
 - b 服装は、自由（動きやすい服装）としますが、個人戦（E、F級）は、ハーフパンツはお控え下さい。
 - c 個人戦、団体戦とも札の配列は、競技委員の合図により、全員が同時に並べ始めてください。
 - d 選手、観客は読手が読みを始めたら、音をたててはいけません。
 - e 団体戦における試合中の応援は、公平性確保の観点から、控えてください。また、相手の中傷するような言動は慎んでください。
 - f 団体戦、個人戦の選手全員、普通傷害保険に加入します。

明和町への交通ご案内



明和町市街図



近鉄斎宮駅から
明和町中央公民館までは、約徒歩25分です。

松阪ICから明和町市街まで約30分です。
玉城ICから明和町市街まで約15～20分です。

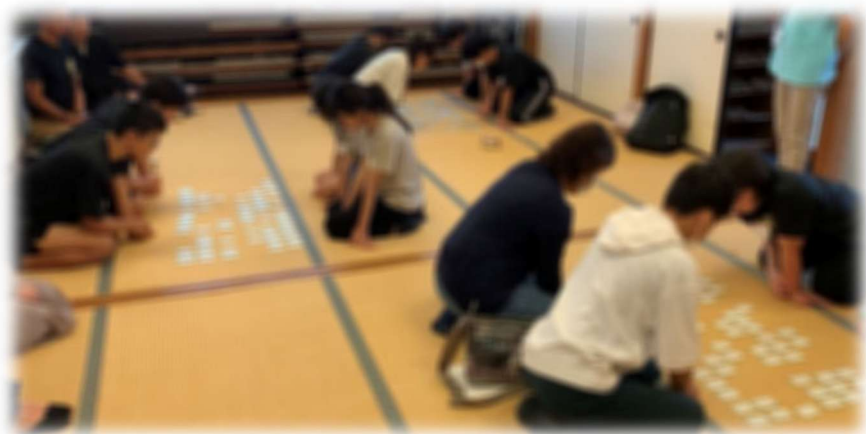
小倉百人一首交流フェスティバルの様子

平成元年に第 18 回大会を開催して以降、新型コロナウイルス感染拡大で令和 2 年度、3 年度（令和 3 年度は国体・デモスポ）と開催を見合わせた交流フェスティバルですが、昨年 10 月 27 日には「第 21 回小倉百人一首交流フェスティバル」を開催しました。

前回は、地元明和町はもとより、県内各地から、団体戦 6 チーム 12 人、個人戦に 35 人、合計 51 人のみなさまにご参加いただきました。地元の明和町や松阪市をはじめ、北は桑名市、南は伊勢市、西は伊賀市など県内各地からご参加いただきました。また、年齢層も小学 3 年生から 70 歳代の方までとバラエティーに富み、文字通りかるたを通じて県民相互の交流が図られました。



個人戦の様子



団体戦の様子

競技かるたの歴史と（一社）全日本かるた協会のご紹介

競技かるたの歴史と（一社）全日本かるた協会の成り立ち

百人一首かるたの楽しみ方にも、「坊主めくり」、「ちらし取り」、「源平合戦」、「競技かるた」等いろいろありますが、ここでは「競技かるた」の歴史について少しご説明します。

「競技かるた」が始まったのは、明治 37 年（1904 年）です。もちろんそれ以前にも「競技かるた」は楽しまれていましたが、ルールは場所によって様々でした。

それを統一して、早く取るための方法を分析し、競技かるたを確立したのは、明治のジャーナリスト黒岩涙香でした。涙香は新聞「萬朝報」（よろずちょうほう）に「かるた早取り法」の特集記事を掲載して、第 1 回の全国競技会を、東京日本橋の常盤木倶楽部で開催したのです。

その後、大正時代から昭和初期にかけてかるたは全国的に広まりました。そして、戦争のために中断していたかるた界を復興し、統一しようとする動きがあり、昭和 23 年に「全日本かるた協会」が設立され、平成 8 年 8 月より社団法人として、さらに平成 26 年 4 月より一般社団法人として活動しています。

（一社）全日本かるた協会の事業

全日本かるた協会の最大の事業が、全国各地でのかるた大会の公認です。

以前は、年間約 60 回もの全日本かるた協会公認のかるた大会が全国で開催されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度、3 年度は、ほとんどの全国大会が中止となっていました。しかし、ワクチン接種の拡がりや新型コロナウイルスの法的な位置づけが変更になったことから、一昨年から従来どおりに開催されるようになりました。実力に応じてクラス分け（A 級：4 段以上、B 級：3 段、C 級：2 段、D 級：初段、E 級：無段、初心者）された上で、各クラスにおいて男女を問わず小学生からお年寄りまでが各々の技量を競いつつ、かるたに親しみ、親睦を深めています。

また、競技かるたの最高峰を決定する「名人位戦」、「クイーン位戦」は、コロナ禍においても感染防止対策を徹底したうえで継続開催し、その様子はインターネットで動画配信されています。

この他、「全日本選手権大会」、「選抜大会」といったタイトル戦も、コロナ禍での中止の時期もありましたが、令和 4 年度以降はこれまでどおり開催しています。

三重県にゆかりのあるものでは、「第 36 回 全国競技かるた女流選手権大会」を、競技かるた制定 100 周年の節目の年となった平成 16 年 10 月に明和町で開催しました。さらに、平成 29 年 5 月には、「第 29 回 全国シニア選手権大会」を「いつきのみや地域交流センター」と「さいくう平安の杜」正殿で開催しています。

この他にも、百人一首を日本の伝統文化としてとらえた調査研究活動や文化講演会、競技かるたを楽しみたい人たちのために初心者講習会を行い、かるた文化の醸成やかるた競技の普及、愛好者の拡大に努めています。また、読手（どくしゅ）講習会を開催し、読手の育成にも取り組んでいます。



三重県かるた協会のご紹介

三重県における競技かるたの歴史は、大正12年(1923年)に桑名市の百人一首愛好家により「桑名若菜会」を設立したことに始まり、昨年100年目を迎えました。桑名若菜会は、三重県内のかるた界の中心的な存在となるとともに、全国各地のかるた大会に出場し、全日本選手権大会を含む数多くの優勝者を輩出するなど、これまで優秀な成績を収めています。

三重県かるた協会は、平成4年に県下のかるた会を統合して発足しました。平成14年1月より桑名若菜会が行なってきた諸事業を三重県かるた協会が継承し、さらに令和2年度からは、全国的な組織改編に伴い、都道府県かるた協会としての三重県かるた協会に位置づけ、それまで三重県かるた協会が担ってきた活動は、改称・再編した「三重若菜会」へ移行し現在に至っています。

主たる事業として、桑名市内で全国かるた大会を毎年開催しています。この大会は、全国の有力選手が集まる大会として有名であるとともに、戦前から続く数少ない全国大会でもあります。戦時中戦後の一時の中断やコロナ禍での中止はありましたが、今年1月と3月には、「第82回全国競技かるた桑名大会」を開催し、一部のカテゴリで参加地域の限定はあったものの、全国から621名の選手が集まる盛会となりました。

また、平成16年10月に明和町で開催された「小倉百人一首フェスティバル in みえ／第36回全国競技かるた女流選手権大会」、平成27年11月に「さいくう平安の杜」正殿で行われた「第62期名人位戦・第60期クイーン位戦挑戦者決定戦」、平成29年5月に開催された「第29回全国シニア選手権大会」では、中心的な運営に携わりました。

この他、加盟かるた会である三重若菜会の全国の競技大会参加や練習会を支援するとともに、県内各地で講習会や講演会を積極的に開催するなど、県内へのかるた文化の普及に努めています。



第82回全国競技かるた桑名大会（於：桑名市、令和7年3月）

第22回 小倉百人一首交流フェスティバル(初心者かるた大会) 【団体戦】参加申込書

チ ャ ム 名 :

(ユニークな名前を付けて下さい.)

No	氏名	ふりがな	学年	学校名・園名(園児、小中高大生)
			(小中高大生)	在住市町村または勤務先名(一般の方)
1				
2				

- 競技人数・登録人数は、2人までです。
- 個人戦と同時に行うため、個人戦に出場する方は、登録出来ません。
- 不足の場合は、恐れ入りますがコピーして下さい。
- 大会成績として、お名前、学校名、学年、在住市町村、勤務先は、報道機関に提供する場合がありますことをご了解願います。
- 大会当日のマスクの着用は自由としますが、対戦相手に求められたときは着用してください。
- 大会当日は、こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。

記入内容について のお問い合わせ先	お名前	
	TEL	

申込締切: 令和7年10月31日(金)必着

(メールでのお申込み)

三重県かるた協会 大会事務局 加田ゆかり宛

E-mail okayucyan55@yahoo.co.jp

(郵送・FAXでのお申し込み)

〒511-0831 桑名市益生町25 太田富夫宛

TEL & FAX 0594-25-2613

※この他、三重県かるた協会ホームページから、メールフォームで申し込み出来ます。

第22回 小倉百人一首交流フェスティバル(初心者かるた大会) 【個人戦】参加申込書

切り取り線

No	出場級 (E～F級)	氏名	ふりがな	段位	学年 (小中高大生)	学校名・園名(園児、小中高大生) 在住市町村または勤務先名(一般の方)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

- 団体戦と同時に行うため、団体戦に出場する方は、登録出来ません。
- E級は、競技かるた経験者※かつ無段者です。
※競技かるた経験者：公認大会出場経験あり又はそれに準ずる実力がある人、又は三重県かるた協会加盟団体会員で初段を目指す人
- F級は、E級以外の方、かつ無段者です。
- 不足の場合は、恐れ入りますがコピーして下さい。
- 大会成績として、お名前、学校名、学年、在住市町村、勤務先は、報道機関に提供する場合がありますことをご了解願います。
- 大会当日のマスクの着用は自由としますが、対戦相手に求められたときは着用してください。
- 大会当日は、こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。

記入内容についてのお問い合わせ先	お名前	
	TEL	

申込締切：令和7年10月31日(金)必着

(メールでのお申込み) 三重県かるた協会 大会事務局 加田ゆかり宛
E-mail okayucyan55@yahoo.co.jp
(郵送・FAXでのお申し込み) 〒511-0831 桑名市益生町25 太田富夫宛
TEL & FAX 0594-25-2613

※この他、三重県かるた協会ホームページから、メールフォームで申し込み出来ます。

かるたをやろう！

マンガ、アニメ、ドラマを通じて観る機会も多くなった競技かるた。
三重県かるた協会加盟の三重若菜会では、三重県内各地で練習会を開催しています。
この機会に、ぜひ、競技かるたをやってみませんか！

<県内の主な練習場所>

・東員町、桑名市、鈴鹿市、津市(旧久居市)、松阪市、明和町、伊賀市、伊勢市

また、毎月第1土曜日の午後、桑名市内で初心者の方を対象とした練習会も開催しています。

競技かるたに興味のある方、詳しくお知りになりたい方は以下までご連絡ください。

〒511-0831 桑名市益生町25 太田富夫まで
TEL&FAX 0594-25-2613
スマホ 090-3937-4735
E-mail miekaruta@ninus.ocn.ne.jp

<競技かるたのメリット>

- ・お金、そんなにかかりません。
- ・道具不要です（身一つでOK）。
- ・記憶力と集中力アップ！
- ・古典や歴史に興味を持てます。
- ・かるた大会に出場すると、全国各地に友だちができます。などなど

(一社) 全日本かるた協会・東海支部所属

三 重 県 か る た 協 会

会 長 太 田 富 夫

〒511-0831 桑名市益生町 25

TEL & FAX 0594-25-2613

スマホ 090-3937-4735

E-mail miekaruta@ninus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://miekaruta.sakura.ne.jp/>